

実用化研究開発開発 (H20～H21)

「塩分の飛来・付着特性と塗装の劣化を考慮した鋼桁洗浄システムの開発」

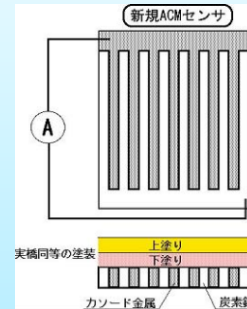
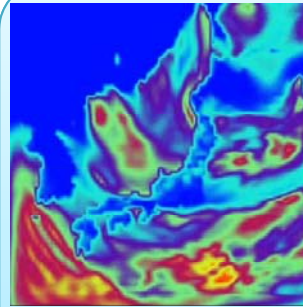
名古屋工業大学 小畑誠教授 (研究分担:名古屋工業大学, 物質材料研究機構, 福井県)

— 研究開発概要 —

- 日本海沿岸地域での飛来塩分による鋼橋の腐食状況は深刻. 再塗装にかかる費用を低減し維持管理費用の圧縮を目指す。
- 橋梁洗浄による付着塩分の洗い流し手法の確立を目指す。



付着塩分による鋼橋の深刻な腐食



飛来塩分量の予測
塗膜劣化の評価



橋梁洗浄機の開発
橋梁洗浄の実施

— 研究開発成果・今後の展開 —

- ・・・橋梁洗浄機の開発とその効果の把握
塗膜劣化センサの開発
飛来塩分量予測手法の提案
- ・・・冬季の塩分飛来後, 春に橋梁洗浄を実施することで再塗装間隔が延び約40%の維持管理コストの低減が期待される. 今後, 福井県内の2カ所の橋梁において洗浄を継続して実施する.